拝啓　◯◯の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。久しくご無沙汰いたしましております。

　さて、このたび私は…（本題へと展開するための事情・原因をここに記載します）

　（本題をここに記載します）

　どうぞ今後ともよろしくご指導くださるようお願い申し上げます。

　それでは、季節柄なおいっそうご自愛くださいますようお祈りいたします［くれぐれもお体に気をつけてお過ごしください］。

　まずは簡単ではございますが、書中にてご挨拶申し上げます。

敬具

　　　平成○○年○○月○○日

○ ○ ○ ○

○ ○ 様